

Japan Society of Civil Engineers
International Activities Center

巻頭言

国際交流とネットワークの構築



公益社団法人 土木学会
国際担当主査理事 霜上 民生

土木学会は学術・技術の進歩、社会資本整備の推進、人材育成の分野で国の内外を問わず貢献しています。競争もあれば協力や支援とその形態も様々です。元々国境を意識してはいませんが、言葉の障壁があり、海外への発信も海外からの受け入れも、英語や仏語を母国語とする諸国と比べると小規模と思います。日本には社会の発展に寄与すると思われる土木技術が多々ありますが、その多くは世界標準にはなっていない。日本語だけではなく、英仏語などで表現するとともに、日本の土木技術に関心を持ってもらうように海外の方々に積極的に働きかけることが重要不可欠です。土木学会の国際センターでは、英語で発信すること、外国の学会との交流や国際会議の開催、海外支部の国別の分会活動などを通じて、海外の方々とネットワークづくりに努めてきました。

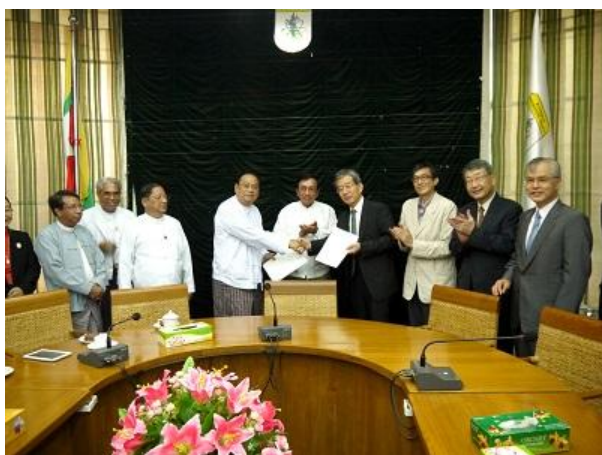
情報の発信ということでは、系統だった英訳されたコンテンツが必要です。土木学会（以下 JSCE）の各種委員会の報告書等はできるだけ英訳を併記することを期待しています。全国大

会のバイリンガル化も検討していただきたいです。

海外の研究者や実務者とのネットワークを拡げていくためには、まずは海外で事業を展開している企業のご理解を得て、在外邦人技術者に正会員として入会してもらいたいと思います。また、留学生を指導される先生方には帰国後のケアとして、JSCE から情報を継続的に送り続けられる情報通信の環境作りにご協力を御願います。帰国留学生に JSCE の活動に興味を持っていただいた上で、各国の分会への参加を働きかけたいと思います。

各国の分会は邦人会員と外国会員とが交流し、有益な情報を交換する場となります。そしてそこから発展して、研究協力、技術協力、災害などの共同調査、プロジェクトの形成、事業の共同参画など具体的な活動へ繋がるのが期待されます。

土木学会の国際活動に皆様の積極的なご参加を御願います。



海外学協会との協力協定（MOU）の締結



国際センター主催の講演会の様子

私が日本と土木工学を選んだ理由とは!?

早稲田大学大学院 Cheng LI



初めて日本を訪れたとき、私はその美しさに惹きつけられました。そして資源が乏しいうえに国土の68%くらいが森林である島国が、どのように資源を再利用し自然環境と共存する国になったのか、その基本理念や方法に興味を持ち続けています。

子供のころから土木工学に興味があった私は、大きな街はどのようにできていくのか、高層ビルはどうやって作られるのか、よく不思議に思っていました。上海で土木建築や経済が最も急速に発展した10年は、私が生まれた後の期間だったからです。私は環境工学を4年間学び、学術的な知識と実用的なノウハウをしっかりと身につけました。学べば学ぶほど、土木工学の先進国で更に教育を受け、見識を深め、視野を広げたいと思うようになりました。

授業で紹介される日本の先進的技術や、環境装置や汚染防止技術についてのエキジビションには常々驚くばかりでした。九州大学を訪れた際は、日本における生物多様性の保全、水資源管理、水循環のコントロールについて知り感動しました。また、飲用水の浄水処理施設や固体状廃棄物処理場の現地視察会に参加し、優れた膜ろ過技術や環境に配慮したアイデアに大変感激しました。



日本水環境学会にて

最高の技術力と環境問題に関する研究、そして最先端の教育理念と方法論を備えた日本での勉学の機会を私に与えてくれたのは、早稲田大学です。

学問の面では、私たちの研究の一部がいつか実用化されることを願いながら、研究のひとつひとつの成果に胸を躍らせています。榊原教授からは、土木学会や日本水環境学会など国際的な会議で多くの研究発表の機会を頂き、各分野の研究者たちと交流することができました。また一方では環境に関するいくつかの国際学会に、国連環境計画・同済大学環境および持続可能な開発研究所 (UNEP-Tongji Institute for Environment and Sustainable Development) のボランティアとして参加しました。現在は土木学会で翻訳の仕事のパートタイムでしています。こうした活動の全てが、国際的な視野を広げ、土木工学への関心を深めるのに役立ちました。

ご存じのように、日本は世界中で最も進んだ土木技術を持っています。日本国内の土木インフラはほぼ完成しているため、今多くの企業はJICAと協力しながら途上国での都市建設に向け、海外へと進出しています。2月には、幸運にも日立が主催するインターンシップに参加する機会を頂きました。日本の土木工学に関連するいくつかの事務所や研究所を訪れるなかで、日立が創業以来、高い品質を維持し続けることで顧客に提供している信頼感というものに感銘を受けました。日本で多くのことを学んだ留学生として、土木工学分野の一員としてここで働き、貢献したいと切に願っています。



奈良公園にて

開催報告

建設産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語る建設産業のグローバル戦略」～世界のコンサルタントに学ぶ編～開催報告

2015年2月27日に土木学会国際センターおよび建設マネジメント委員会主催の建設産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語る建設産業のグローバル戦略」～世界のコンサルタントに学ぶ編～を開催しました。

我が国の建設産業においては、国内での新規建設投資の縮小が見込まれる中、海外事業が国内事業と並ぶ重要なビジネスとしての位置づけを確保するために、いわゆる政府開発援助（ODA）事業に頼ることなく、世界の建設市場に対する戦略的な行動を継続して実践することが求められています。この現状に鑑み、本講演会は、世界のグローバル企業のトップリーダーとともに、建設産業におけるグローバル戦略を語り、我が国の建設産業の海外展開戦略を考えるきっかけを提供することを目的として実施されました。

今回の講演会には、「世界のコンサルタントに学ぶ編」と題し、グローバルなマーケットを有するスペインのコンサルタント大手 TYPESA 社 CEO であり、国際コンサルティング・エンジニア連盟（FIDIC; International Federation of Consulting Engineers）会長を務める Pablo Bueno 氏を招聘しました。

Bueno 氏には、コンサルタント企業の海外展開戦略の在り方について TYPESA 社における海外展開を事例としてご講演いただきました。引き続き、廣瀬典昭土木学会次期会長および福本勝司建設マネジメント委員会委員長により、国際的に活躍する海外企業との比較などを通じて、我が国建設産業の海外展開の現状と今後について講演が行われました。



講演中の Pablo Bueno 氏

その後、福本委員長をファシリテーターとして、七條牧生氏（国土交通省）、廣谷彰彦氏（オリエンタルコンサルタンツグローバル）、小澤一雅氏（東京大学大学院）を加えた産官学6名によるパネルディスカッションが実施され、我が国のコンサルタントを含む建設産業の海外展開をいかに進めるかについて議論が展開されました。



パネルディスカッションの様子

今回の講演会は220名を超える参加者を集めて開催され、質疑応答では活発な意見交換が行われるなど大変盛会でした。

今回「コンサルタント編」として開催した本講演会シリーズでは、「ゼネラルコントラクター編」などを引き続き実施する予定です。今後の開催時期などにつきましては、決まり次第、土木学会ウェブサイトにて案内します。

【記 土木学会国際センター・建設マネジメント委員会】

イベントカレンダー

●2015年6月12日～13日

パキスタン土木学会（IEP）年次大会および土木技術者会議
（パキスタン・カラチ）

●2015年6月18日～20日

モンゴル土木学会（MACE）年次大会
（モンゴルーウランバートル）

お知らせ

- 土木学会誌の特集記事の概要をJSCEのWebsite（英語版）にアップしました。

<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

- 土木学会コンクリート委員会 ニュースレター No. 40が発行されました。

<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/e/newsletter/Newsletter.htm>

- 土木学会創立100周年記念切手が発行されました。

<http://jsce100.com/node/250>

- 協定学会European Council of Civil Engineers（ECCE）より、書籍「Footbridges- Small is beautiful」が発行されました。日本の歩道橋も錦帯橋を始め17点紹介されています。

<http://www.ecceengineers.eu/>

購読申込み

国際センター通信購読の申し込みは以下のURLよりお願いいたします。また、周囲の方に国際センター通信をご紹介いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

国際センター通信配信希望者登録フォーム

- ・日本語版

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>

- ・英語版

<http://www.jsce-int.org/node/150>

掲載記事募集します！

国際センター通信では、会員の皆様から幅広く投稿記事を募集しています。テーマはプロジェクト紹介、技術紹介、ご自身の体験談などです。文字数は800字程度で和文または英文でご投稿ください。

〈記事投稿の詳細はコチラ〉

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/47>

編集後記

土木学会国際センターから皆様に国際センター通信をお届けし始めてほぼ3年がたちました。号数もちょうど第30号。そして、お気づきでしたでしょうか、紙面のデザインフォーマットが少し変わりました。やや手前味噌かも知れませんが、すっきりと斬新で少しシャープになったはずです。

この国では、桜の咲く4月が会社でも学校でも新しい区切りの始まりです。スタッフ一同、気持ちを新たにこれからも新鮮な国際センター通信をお届けいたします。（E.T.）

〈ご意見・ご質問〉 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

本通信をより話題性に富んだ内容にするため、皆様のご意見やコメントをお聞かせください。